

授業科目名	病 態 生 理 学			担当教員	木村 涼平	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	<p>人体の構造と機能で学習した、ひとに備わる正常な生命の維持に関する知識をもとに、その正常性の破綻により生じる疾病の成因や発症・進行に伴う生体の形態や機能の変化、症状や徴候の発生機序について理解する。本授業は、今後学ぶ各疾病の理解の基礎となると共に、看護実践の根拠となるものである。</p>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な臓器で生じる疾病の病因を理解し、説明できる。 2. 様々な疾病の症候を、発症・進行に伴って起こる形態・機能の変化として説明できる。 3. 様々な疾病の症候の起こるメカニズムを細胞・組織レベルで説明し、回復過程や症状の緩和をサポートするケアを考察することができる。 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	講義オリエンテーション 病態生理学の基礎知識	講義	[予習] 細胞と組織の構造と機能、遺伝子、染色体のはたらき	70分	木村	
2	皮膚・体温調節の障害 免疫のしくみとその障害	講義	[予習] 皮膚の構造と機能、体温調節機能、免疫機能	75分	木村	
3	循環器系の障害	講義	[予習] 循環器系の構造と機能、血圧調節と末梢循環の機能	75分	木村	
4	呼吸器系の障害	講義	[予習] 呼吸器系の構造と機能	75分	木村	
5	消化器系の障害	講義	[予習] 消化器系の構造と機能	75分	木村	
6	体液調節のしくみとその障害 腎・泌尿器系の障害	講義	[予習] 体液調節のしくみ、腎臓・泌尿器系の構造と機能	75分	木村	
7	内分泌・代謝系の障害	講義	[予習] 内分泌系の構造と機能	75分	木村	
8	脳・神経系の障害 運動器系の障害 まとめ	講義	[予習] 脳・神経系、運動器系の構造と機能	75分	木村	

先行履修 科目					
テキスト	田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 (第2版). 医学書院, 2016.				
参考文献	大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学 (第5版). 医学書院, 2015.				
科目の 位置づけ	本科目は「健康」に位置付けられる科目であり、人体の構造と機能に関する知識を基礎として学習する科目である。疾病自体の成り立ちや、疾病の発症や機能に伴う生体の変化、発生機序の仕組みを学ぶことによって、今後、疾病がどのように人体へ影響を及ぼすかといった疾病と治療へとつながっていく大切な科目である。予習・復習を十分に行い主体的かつ自律的な学習をすることができ、疾病の仕組みに対する興味・関心を深めることを期待している。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		◎		○	
評価方法	定期試験 80%, 小テスト 20%				